

# 景況れぼうと すみだ 1 1 5

## 目 次

1	区内中小企業の業況	..... 1
2	区内製造業の業況	..... 2
3	区内卸売業の業況	..... 4
4	区内小売業の業況	..... 5
5	区内サービス業の業況	..... 6
6	区内建設業の業況	..... 7
7	区内不動産業の業況	..... 8
8	特別調査	..... 9

### 調査対象とした区内事業所数と回収状況

	調査数	回収数	未回収の理由
製造業	216	208	倒産・廃業 5
卸売業	63	62	移転・不在 5
小売業	73	70	調査拒否 0
サービス業	29	29	取引解消 0
建設業	13	12	休業 1
不動産業	18	18	その他 2
合計	412	399	

「景況れぼうとすみだ」は、一般社団法人東京都信用金庫協会が区内企業を対象に行った調査資料をもとに、墨田区が編集したものです。

発行月 = 平成 2 9 年 3 月

発行者 = 墨田区産業観光部産業経済課 ☎5608 - 6186 (直通)

平成 2 8 年 1 0 月 ~ 1 2 月期 【第 1 1 5 号】

# 企業における取組事例

情報提供：すみだ中小企業センター

## 大豆卸売業の新規事業展開の事例

今回紹介するA社は、創業1953年の大豆卸売業（二次卸）です。11年前に父である先代の社長が他界され、後継者である当時30歳の長男と28歳の次男が若くして事業承継しました。その後の業況の変化に対応した課題解決に向けた意欲的な事業の取組について紹介します。

### 1. 大豆業界におけるA社の位置づけ

大豆の原産地は国内と国外があり、大きく分けて約70%が精油用、約30%が食品用大豆に消費されています。また、食品用大豆の用途は多い順に、豆腐、油揚げ、味噌、納豆、醤油、豆乳です。A社は食品用大豆の二次卸であり、具体的な取引先は豆腐店、豆腐メーカーになります。

### 2. 豆腐店の状況

#### 事業所数の推移

全国豆腐連合会によると、日本全国ではピーク時の昭和35年の51,596から平成25年には8,017と事業所数が激減しており、ここ数年は年間約500軒が毎年廃業しています。（ただし、生産量や消費量は、大豆の使用量から見て大きな変化はありません）

#### 豆腐店の課題

原材料の価格上昇に加え、地域に進出した大型スーパーが取り扱う機械化を取り入れた大量生産の低価格な豆腐に押され、10人未満の小規模事業所は、事業の将来性や労務面の厳しさから後継者が減少し、廃業する事業所が増えています。

### 3. A社の課題

豆腐店の減少により、A社の主な取引先である小規模事業所数が減少し、取引先別でも販売量が減少しているため、A社の売上も年々徐々に減少しています。また、大豆相場は振れ幅が大きいため安定供給が難しいことや、取引先で扱う豆腐は冷蔵が必要で賞味期限が短いため全国流通が難しいという課題があります。

### 4. A社の取組

当社は生産者である農家の思いを消費者に伝えるには、その間に立つ卸売業者がその思いを伝えなければならないという使命感を持っており、「大豆でつながる」ことによって地域活性化を起こそうとしています。そのためには、農家/問屋/豆腐屋/消費者の意識改革が必要と考えています。具体的には以下のような新規顧客開拓と新製品開発による直販に取り組んでいます。

#### 販路開拓

地域で眠っていた在来種の大豆を卸すことによって、味で大量生産品と差別化を図り、イベントで集客してファンづくりに取り組み、既存取引先の売上拡大、新規取引先の開拓をしています。

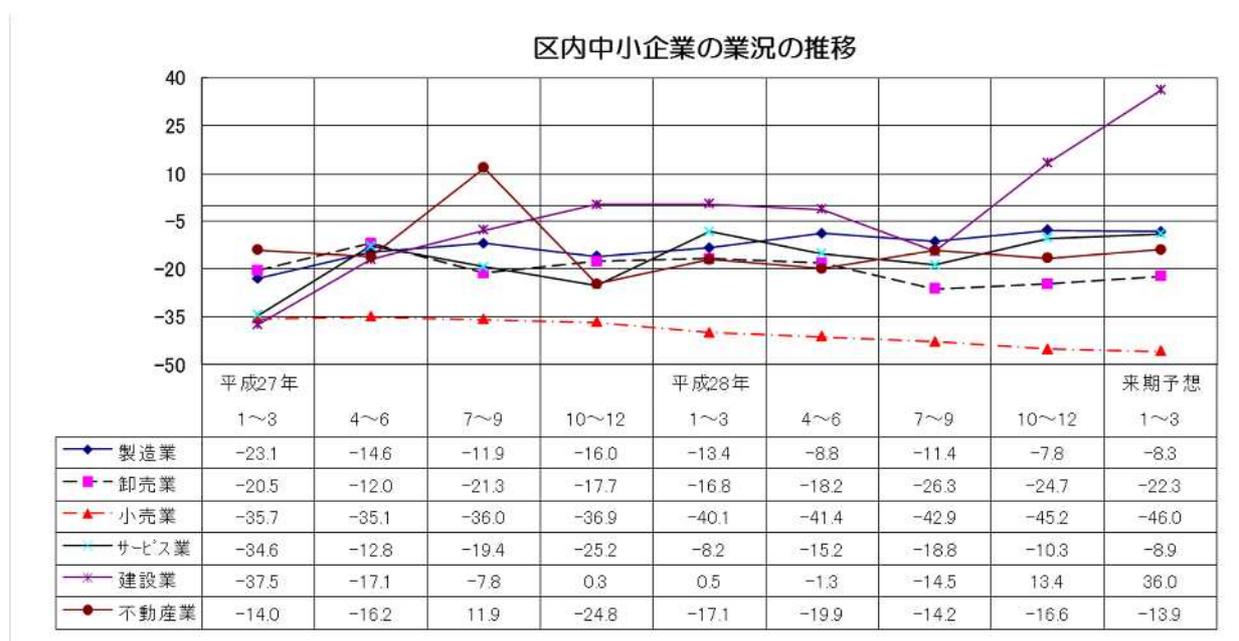
#### 商品開発

需要を直接把握するための食品販売店とのコラボによる「大豆ドレッシング」、「大豆ジャム」の新商品開発とネット販売による直販に取り組んでいます。

### 5. 大豆の将来性とA社の今後

大豆は健康食品として機能性が高く優れており、伝統的な味噌・醤油・豆腐等以外に豆乳を使用した新たな商品などが色々と開発されています。今後、その機能性を生かした商品開発や新たな豆腐作りで、A社の「大豆でつながる」をテーマにした活躍に期待したいと思います。

# 1 区内中小企業の業況



平成28年10月～12月期の区内中小企業の業況は、建設業は減少傾向から大きく増加に転じた。その他の業種における業況は、依然として減少傾向にあるが、サービス業は悪化幅が大幅に縮小し、製造業はわずかに厳しさが和らいだ。卸売業は前期とほぼ同様の悪化幅で減少傾向が続く、小売業及び不動産業においては、悪化幅がやや拡大した。

業種別に見ると、製造業は前期に比べ悪化幅がやや縮小し、わずかに厳しさが和らいだ。来期の業況においては、今期並の水準で推移することが予想される。

卸売業は、前期とほぼ同様の悪化幅で減少傾向が続いた。来期の卸売業の業況は、悪化幅がわずかに縮小することが予想される。

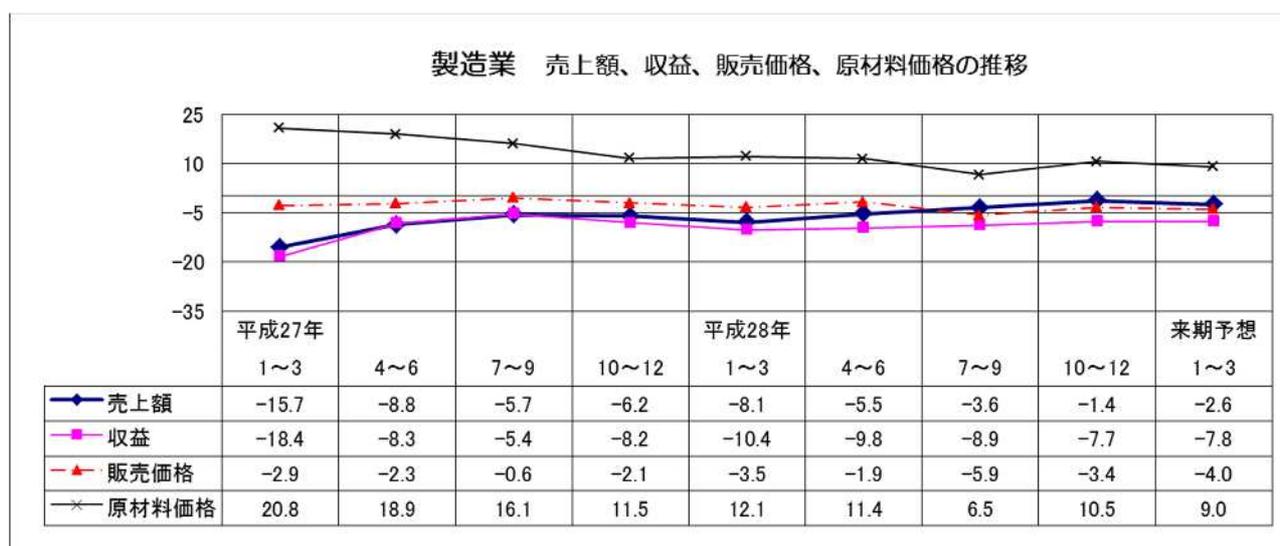
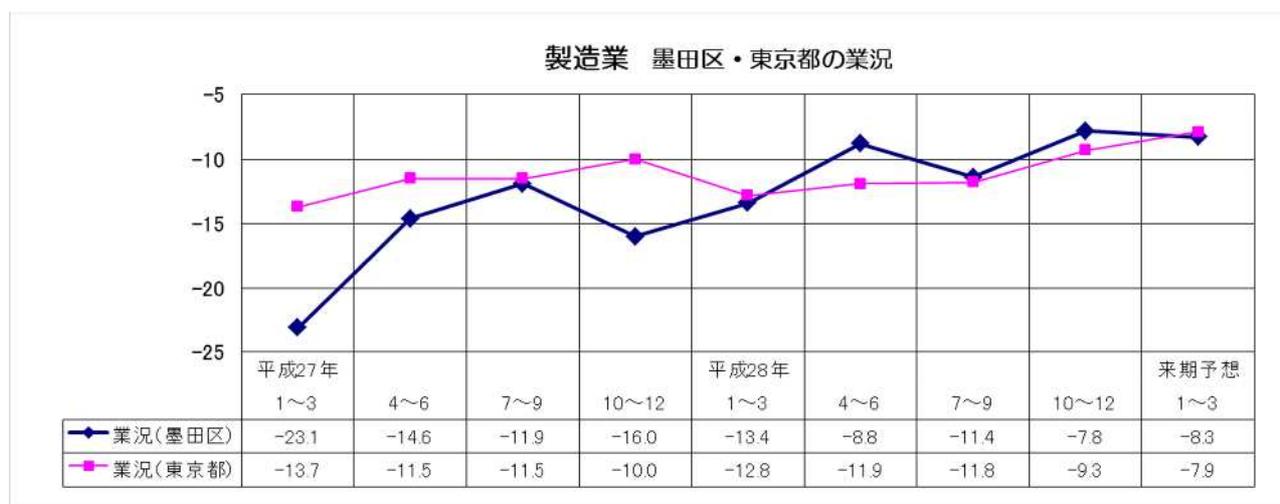
小売業においては、依然として低調基調で推移しており、来期の業況においても、今期同様の厳しさが続くことが予想される。

サービス業は、前期と同様に減少傾向にあるが、悪化幅が大幅に縮小した。来期においても、今期の業況感とほとんど変化なく推移することが予想される。

建設業は、悪化傾向に歯止めがかかり、減少傾向から非常に大きく増加に転じた。来期においては、増加傾向を強め、回復基調をたどることが予想される。

不動産業は、前期に引き続き減少傾向であり、今期は悪化幅がやや拡大した。来期においては、悪化幅がわずかに縮小することが予想される。

## 2 区内製造業の業況

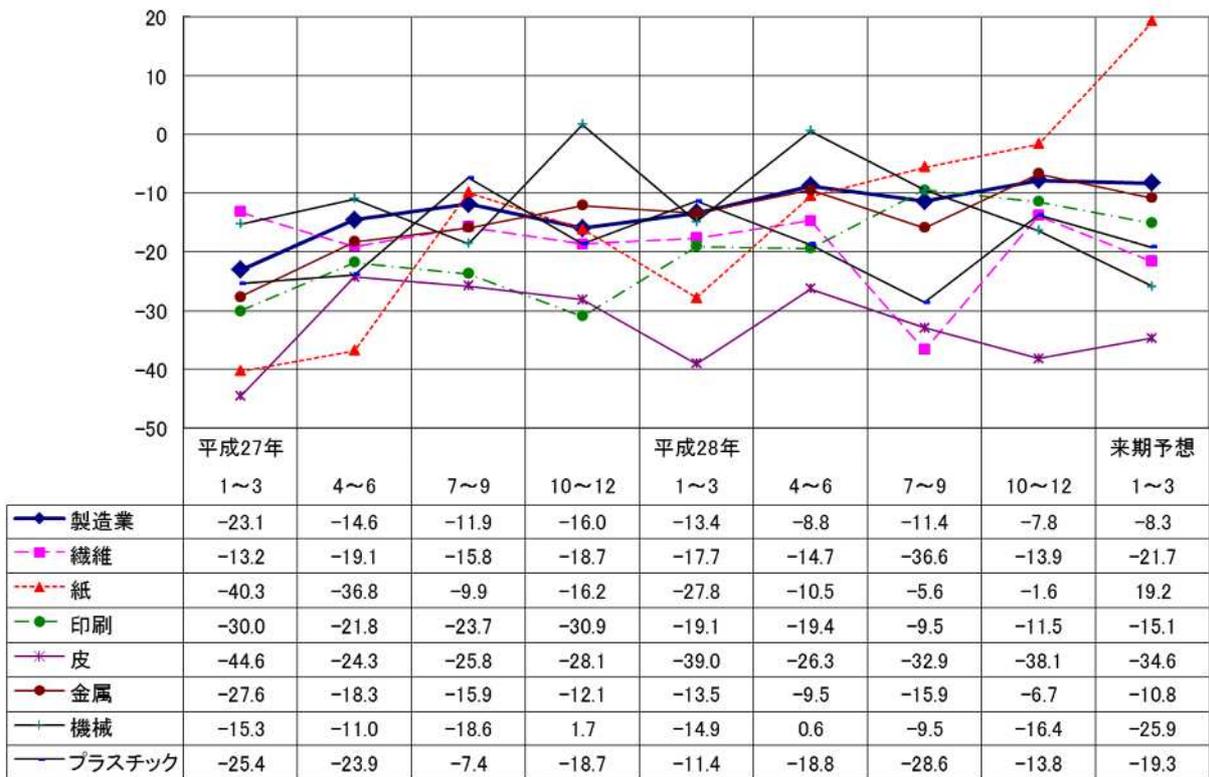


区内製造業の今期業況は、前期に比べ悪化幅がやや縮小し、わずかに厳しさが和らいだ。来期の業況においては、今期並の水準で推移することが予想される。傾向としては、都内製造業に比べ、下降幅がわずかに縮小したが、来期においては都内製造業とほぼ同様の水準で推移することが予想される。

今期の原材料価格は、上昇幅がわずかに拡大した。販売価格は、わずかに下降幅が縮小した。売上額及び収益は、前期とほぼ同様の水準で減少・減益幅が縮小した。

全体的な傾向としては、来期の原材料価格は、今期並の水準で上昇することが予想される。収益及び販売価格は、今期とほぼ増減なく推移し、減少傾向が続くことが予想される。売上額は、今期同様の水準で減少幅が拡大することが予想される。

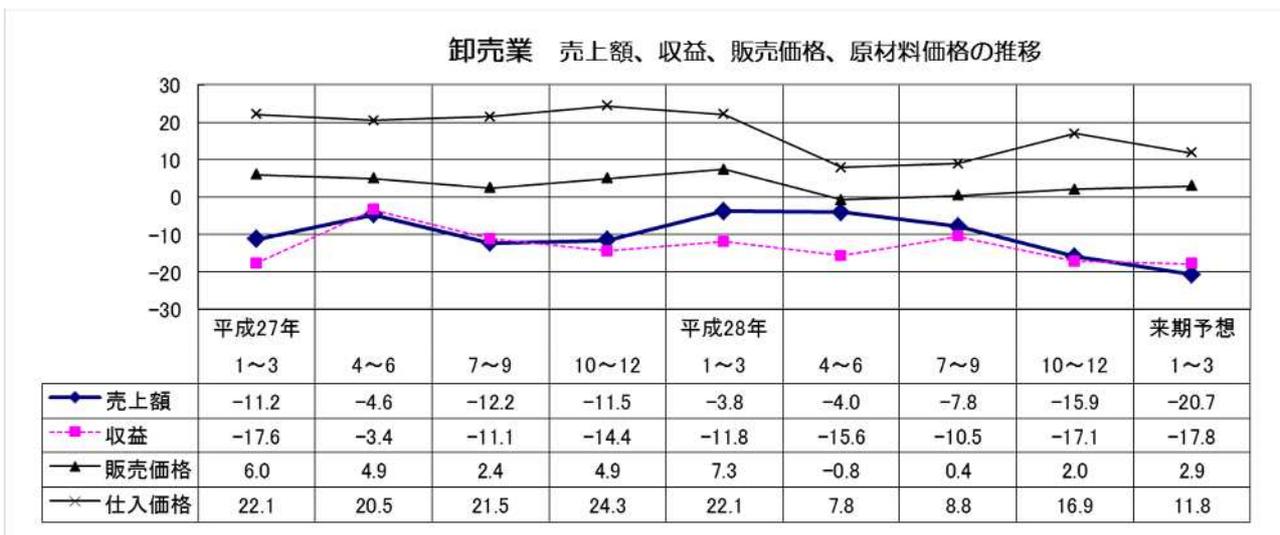
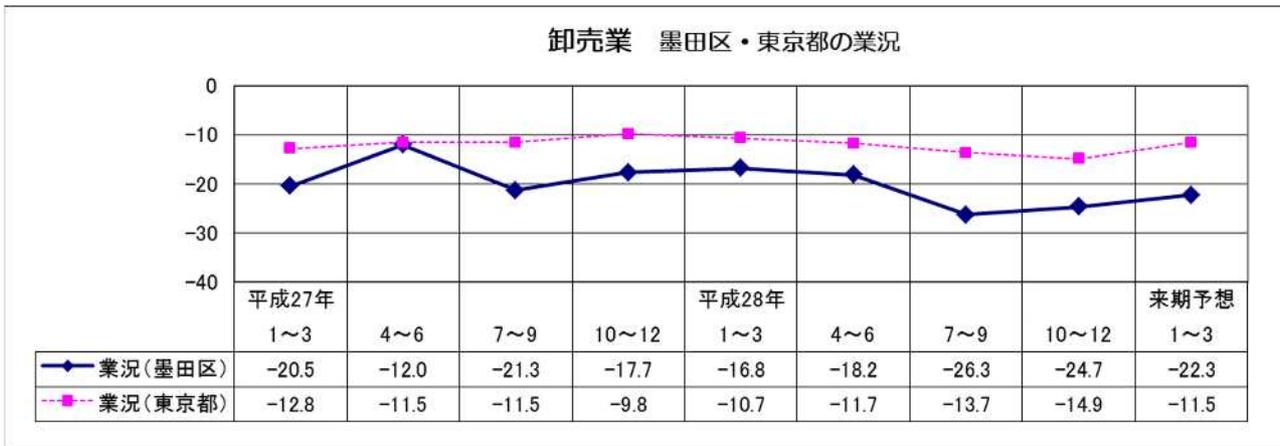
製造業 業種別業況の推移



区内製造業の業況を業種別に見ると、繊維(繊維工業、衣服・その他繊維製品)は、前期において大きく悪化幅が拡大したが、今期は大きく持ち直した。プラスチック(プラスチック製品)及び金属(金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業)においても、前期において悪化幅が大幅に拡大したが、今期は悪化幅が大幅に縮小した。紙(パルプ・紙、紙加工品)は、減少傾向ながらも徐々にその度合いは縮小し、良化の兆しが見えてきた。印刷(出版、印刷、製版、製本業)は、減少傾向が改善してきていたが、今期はわずかに業況感が落ち込んだ。皮(なめし皮・同製品・毛皮)及び機械(一般機械器具、金型)は、悪化幅がやや拡大し、悪化傾向を強めた。

来期において、紙(パルプ・紙、紙加工品)は、悪化傾向に歯止めがかかり、減少傾向から大きく増加に転じ、皮(なめし皮・同製品・毛皮)は、わずかに厳しさが和らぐことが予想される。印刷(出版、印刷、製版、製本業)及び金属(金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業)は、悪化幅がやや拡大することが予想される。プラスチック(プラスチック製品)及び繊維(繊維工業、衣服・その他繊維製品)は、再び低調感を強め、機械(一般機械器具、金型)においては、悪化傾向をかなり強めることが予想される。

### 3 区内卸売業の業況

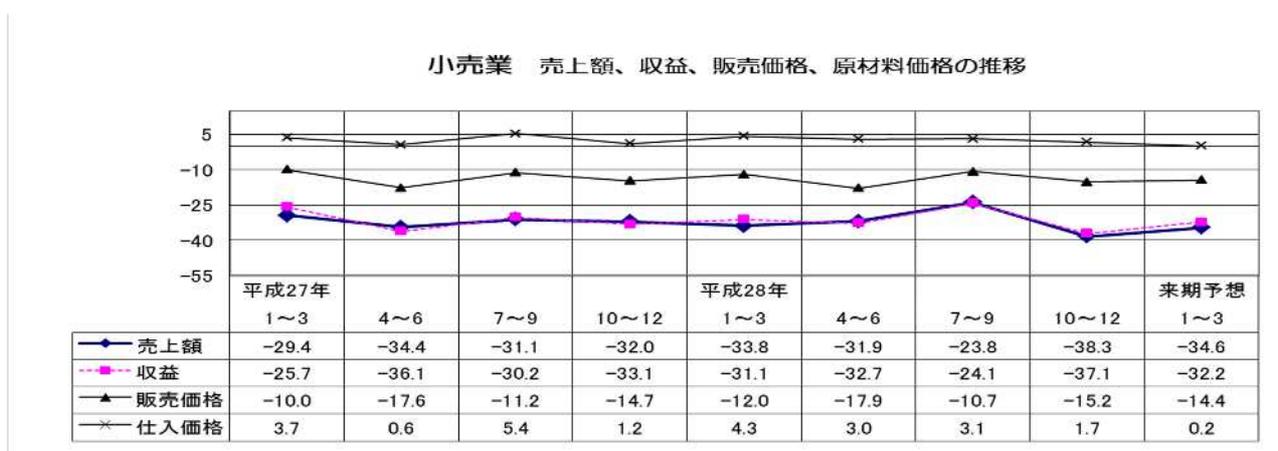
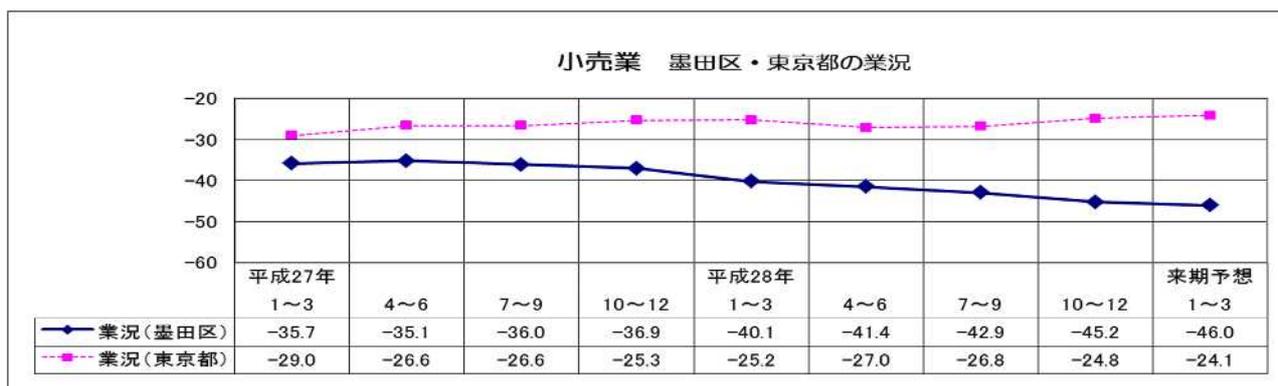


区内卸売業の今期業況は、前期とほぼ同様の悪化幅で減少傾向が続いた。来期の卸売業の業況は、悪化幅がわずかに縮小することが予想される。傾向としては、都内卸売業に比べ低い水準にあり、来期においては、今期と同様の業況感で推移することが予想される。

今期の仕入価格は、大きく上昇傾向を強めた。販売価格は、前期において上昇に転じ、今期においても上昇幅が拡大した。売上額及び収益は、わずかに悪化幅が拡大し、減少傾向を強めた。

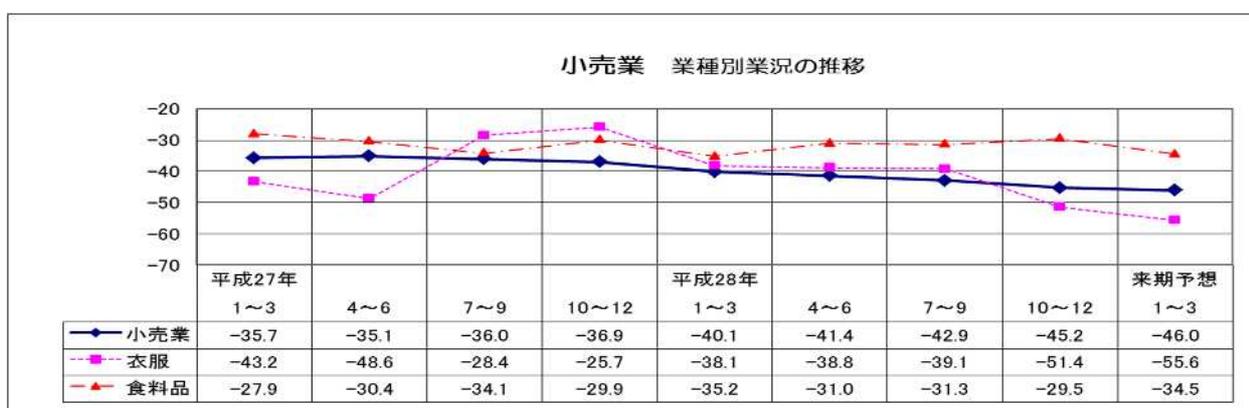
全体的な傾向としては、来期の販売価格は、今期同様の水準で上昇傾向を強めることが予想される。収益は今期とほぼ同等の水準で推移し、売上額は減少幅がやや拡大することが予想される。仕入価格は、上昇幅がわずかに縮小することが予想される。

## 4 区内小売業の業況



区内小売業の今期業況は、依然として低調基調で推移しており、来期の業況においても、今期同様の厳しさが続くことが予想される。傾向としては、都内小売業に比べ、低い水準にあり、来期においては減少傾向がわずかに拡大することが予想される。

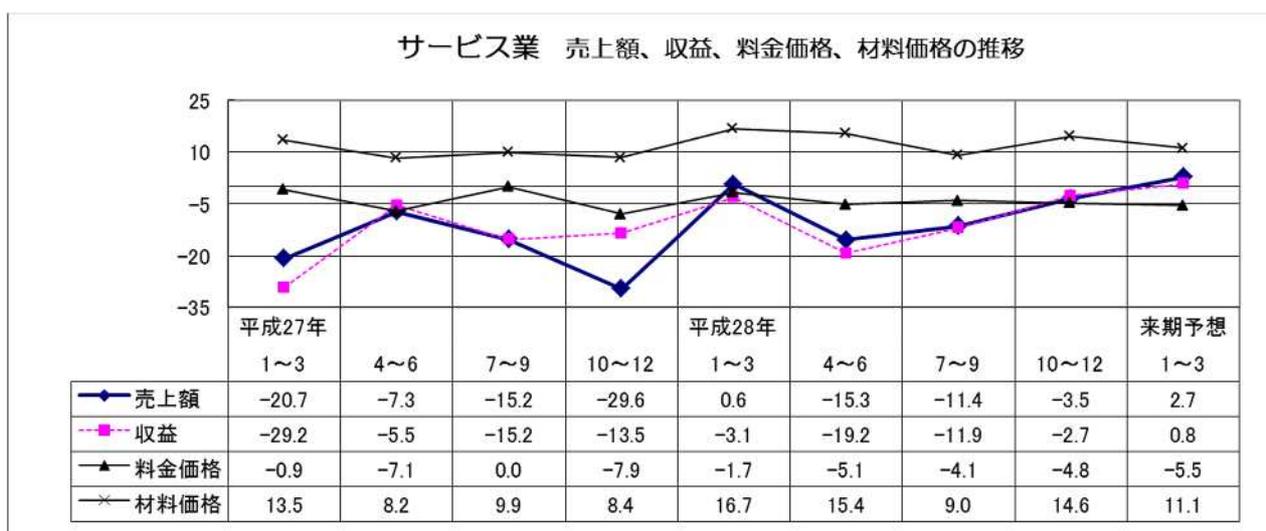
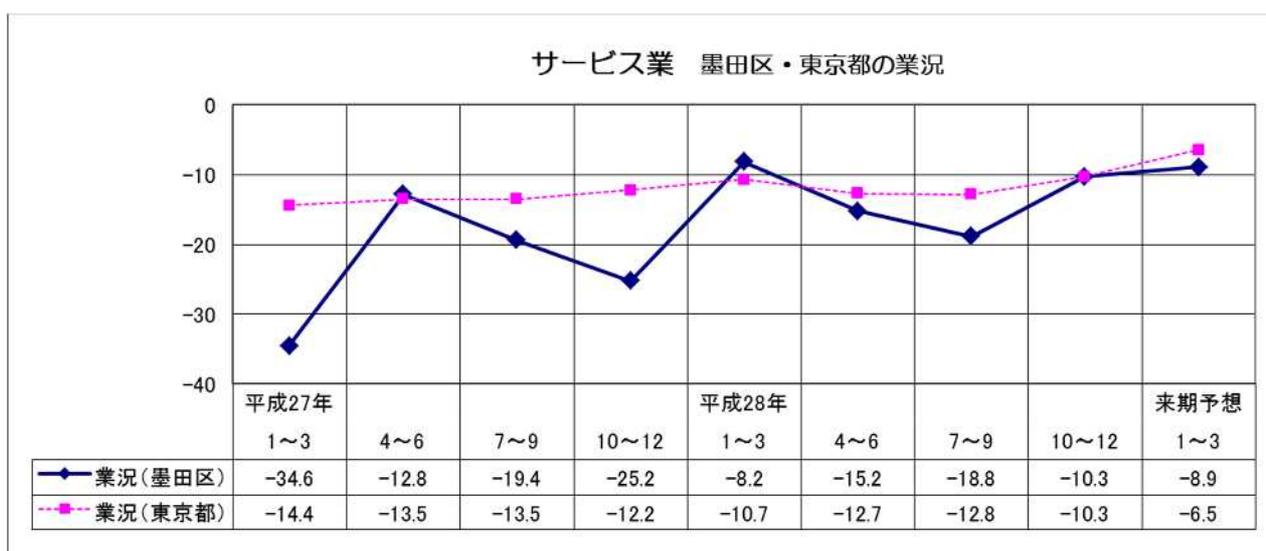
今期の仕入価格は、前期とほぼ横這いの水準で推移し、来期は今期並の下降が続くことが予想される。販売価格は、わずかに下降幅が拡大し、来期は今期並の下降幅となることが予想される。売上額及び収益は、減少・減益幅が大きく拡大した。来期においては、わずかに改善することが予想される。



区内小売業の業種別今期業況は、食料品（飲食料品）は、前期とほぼ横這いの水準で推移した。衣服（呉服、身の回りの品）は悪化幅が大幅に拡大した。

来期においては、衣服（呉服、身の回りの品）及び食料品（飲食料品）は、悪化傾向がやや強まることが予想される。

## 5 区内サービス業の業況

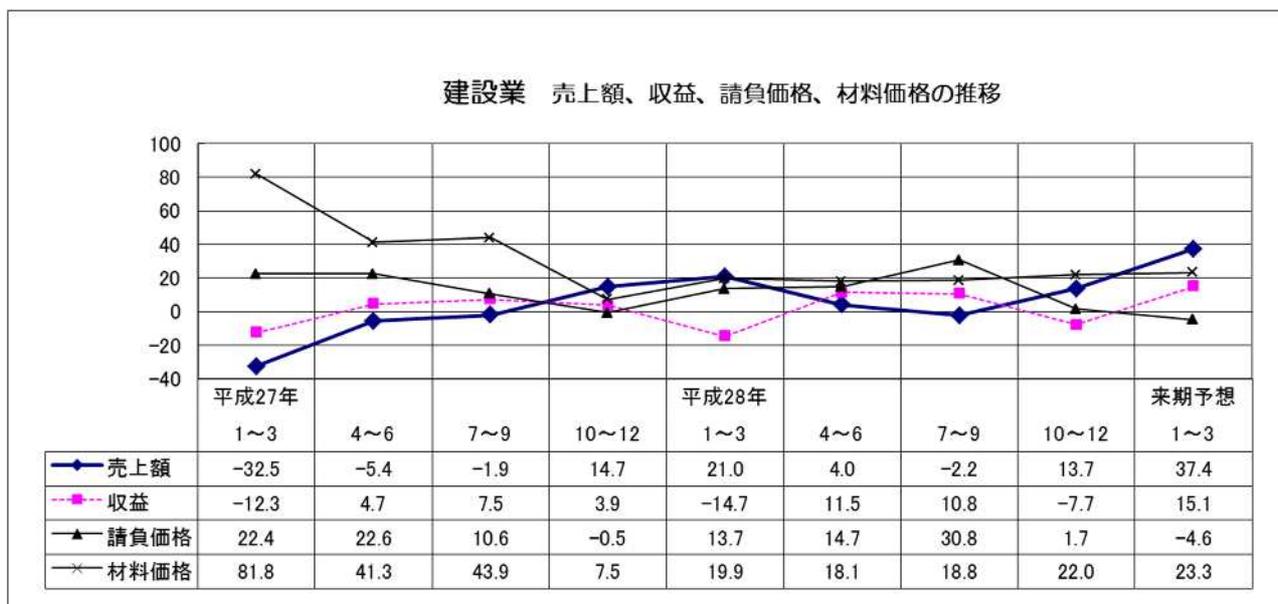
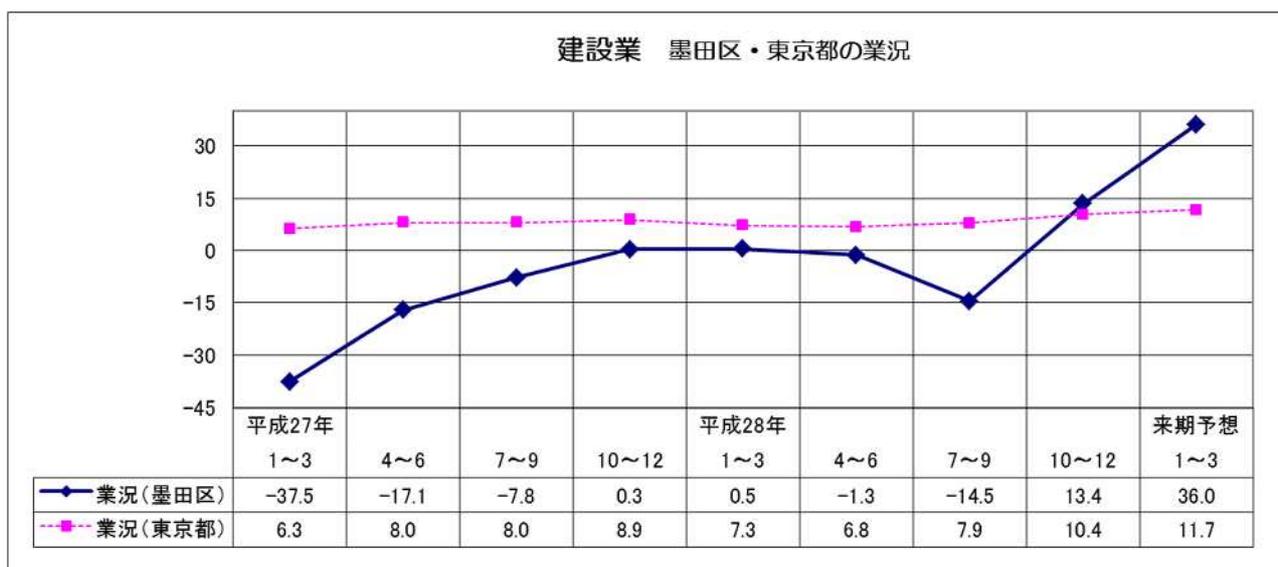


区内サービス業の今期業況は、前期と同様に減少傾向にあるが、悪化幅が大幅に縮小した。来期においても、今期の業況感とほとんど変化なく推移することが予想される。傾向としては、今期においては都内サービス業と同様の業況感であるが、来期においては、都内サービス業に比べ低い水準で推移することが予想される。

売上額及び収益は、前期に引き続き悪化幅が縮小し、改善傾向となった。材料価格は再び上昇幅が拡大した。料金価格は、前期とほぼ横這いの下降が続いた。

全体的な傾向として、来期の売上額及び収益は減少傾向から増加に転じることが予想される。料金価格は今期同様の低調基調で推移し、材料価格は、上昇幅がやや縮小することが予想される。

## 6 区内建設業の業況

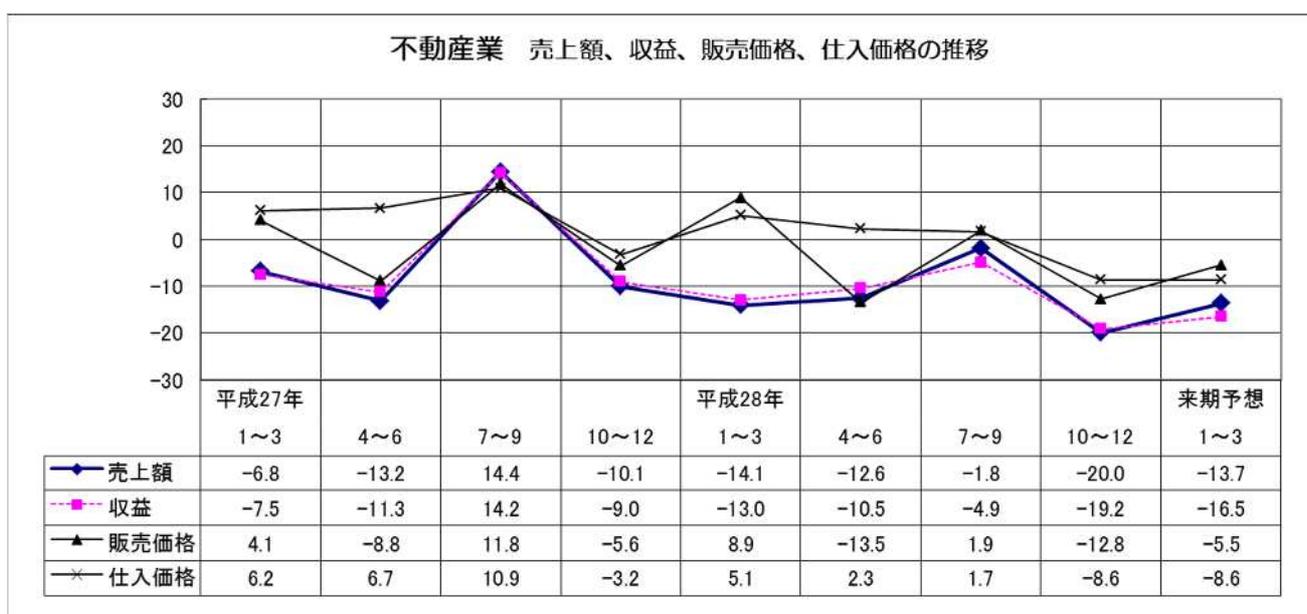
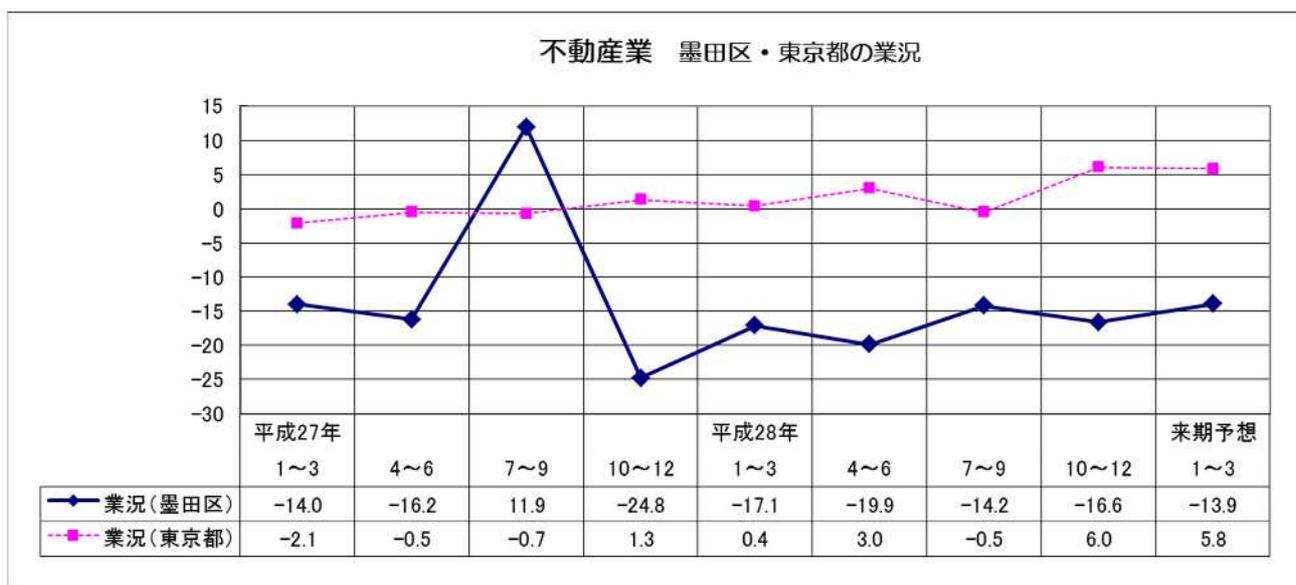


区内建設業の今期業況は、悪化傾向に歯止めがかかり、減少傾向から大きく増加に転じた。来期においては、増加傾向を強め、回復基調をたどることが予想される。傾向としては、都内建設業に比べ低い水準にあったが、今期はわずかに好転し、来期においては、都内建設業に比べ、大きく回復傾向になることが予想される。

今期の売上額は前期において水面下に落ち込んだが、今期は再び増加に転じた。材料価格は上昇幅がわずかに拡大した。収益は増加から減少に転じた。請負価格は上昇幅が大幅に縮小した。

全体の傾向として、来期の売上額は、増加傾向が非常に大きく強まることが予想される。収益は再び水面下を脱して増加に転じ、材料価格は今期とほぼ横這いの増加幅となり、請負価格は上昇から下降へと転じることが予想される。

## 7 区内不動産業の業況



区内不動産業の今期業況は、前期に引き続き減少傾向であり、今期は悪化幅がやや拡大した。来期においては、悪化幅がわずかに縮小することが予想される。傾向としては、都内不動産業に比べ、低い水準にあるが、来期においても同様の水準で推移することが予想される。

仕入価格は、上昇から下降へと転じた。販売価格は、前期において上昇に転じたが、再び下降へと転じた。売上額及び収益は、減少・減益幅が大幅に拡大した。

全体の傾向として、来期の販売価格は、下降幅が大きく縮小することが予想される。売上額及び収益は、減少・減益幅が縮小し、仕入価格は前期並の下降が続くことが予想される。

## 8 特別調査（金融サービスにおけるIT利活用と中小企業）

平成28年10月～12月期 調査

### 1 平成29年の景気見通し

	回答数	非常に良い		良い		やや良い		普通		やや悪い		悪い		非常に悪い		
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	
総数	397	4	1.0	3	0.8	32	8.1	163	41.1	135	34.0	54	13.6	6	1.5	
業種	製造業	206	3	1.5	2	1.0	19	9.2	88	42.7	72	35.0	22	10.7	0	-
	卸売業	62	0	-	0	-	4	6.5	17	27.4	28	45.2	10	16.1	3	4.8
	小売業	70	0	-	0	-	3	4.3	29	41.4	19	27.1	16	22.9	3	4.3
	サービス業	29	0	-	0	-	4	13.8	13	44.8	8	27.6	4	13.8	0	-
	建設業	12	0	-	0	-	1	8.3	6	50.0	4	33.3	1	8.3	0	-
	不動産業	18	1	5.6	1	5.6	1	5.6	10	55.6	4	22.2	1	5.6	0	-

### 2 平成29年の自社の業況見通し

	回答数	非常に良い		良い		やや良い		普通		やや悪い		悪い		非常に悪い		
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	
総数	397	1	0.3	6	1.5	38	9.6	190	47.9	116	29.2	39	9.8	7	1.8	
業種	製造業	206	1	0.5	3	1.5	26	12.6	99	48.1	65	31.6	12	5.8	0	-
	卸売業	62	0	-	0	-	4	6.5	23	37.1	25	40.3	7	11.3	3	4.8
	小売業	70	0	-	0	-	3	4.3	34	48.6	14	20.0	15	21.4	4	5.7
	サービス業	29	0	-	1	3.4	3	10.3	13	44.8	8	27.6	4	13.8	0	-
	建設業	12	0	-	0	-	2	16.7	8	66.7	2	16.7	0	-	0	-
	不動産業	18	0	-	2	11.1	0	-	13	72.2	2	11.1	1	5.6	0	-

### 3 平成29年の売上額伸び率見通し

	回答数	30%以上の増加		20~29%の増加		10~19%の増加		10%未満の増加		変わらない		10%未満の減少		10~19%の減少		20~29%の減少		30%以上の減少		
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	
総数	397	1	0.3	4	1.0	19	4.8	58	14.6	187	47.1	97	24.4	22	5.5	8	2.0	1	0.3	
業種	製造業	206	0	-	4	1.9	10	4.9	32	15.5	97	47.1	51	24.8	11	5.3	1	0.5	0	-
	卸売業	62	0	-	0	-	3	4.8	12	19.4	24	38.7	15	24.2	5	8.1	3	4.8	0	-
	小売業	70	0	-	0	-	2	2.9	4	5.7	34	48.6	21	30.0	6	8.6	2	2.9	1	1.4
	サービス業	29	0	-	0	-	2	6.9	5	17.2	15	51.7	7	24.1	0	-	0	-	0	-
	建設業	12	0	-	0	-	2	16.7	4	33.3	4	33.3	1	8.3	0	-	1	8.3	0	-
	不動産業	18	1	5.6	0	-	0	-	1	5.6	13	72.2	2	11.1	0	-	1	5.6	0	-

#### 4 自社の業況が上向く転換点見通し

	回答数	すでに上向いている		6か月以内		1年後		2年後		3年後		3年超		業況改善の見通しは立たない		
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	
総数	395	30	7.6	14	3.5	57	14.4	59	14.9	37	9.4	49	12.4	149	37.7	
業種	製造業	204	18	8.8	8	3.9	31	15.2	32	15.7	22	10.8	23	11.3	70	34.3
	卸売業	62	2	3.2	5	8.1	11	17.7	9	14.5	5	8.1	8	12.9	22	35.5
	小売業	70	1	1.4	0	-	9	12.9	10	14.3	5	7.1	7	10.0	38	54.3
	サービス業	29	4	13.8	1	3.4	1	3.4	4	13.8	3	10.3	6	20.7	10	34.5
	建設業	12	3	25.0	0	-	3	25.0	0	-	1	8.3	2	16.7	3	25.0
	不動産業	18	2	11.1	0	-	2	11.1	4	22.2	1	5.6	3	16.7	6	33.3

#### 5 マイナス金利政策の経営上の影響

	回答数	良い影響がある		やや良い影響がある		どちらともいえない		やや悪い影響がある		悪い影響がある		よくわからない		
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	
総数	397	6	1.5	18	4.5	166	41.8	38	9.6	15	3.8	154	38.8	
業種	製造業	206	2	1.0	10	4.9	89	43.2	27	13.1	7	3.4	71	34.5
	卸売業	62	1	1.6	5	8.1	28	45.2	8	12.9	3	4.8	17	27.4
	小売業	70	0	-	1	1.4	25	35.7	2	2.9	5	7.1	37	52.9
	サービス業	29	1	3.4	0	-	13	44.8	1	3.4	0	-	14	48.3
	建設業	12	1	8.3	0	-	5	41.7	0	-	0	-	6	50.0
	不動産業	18	1	5.6	2	11.1	6	33.3	0	-	0	-	9	50.0